

hΛbitvs✧Logic

AI検索最適化ソリューション ハビタス ロジック

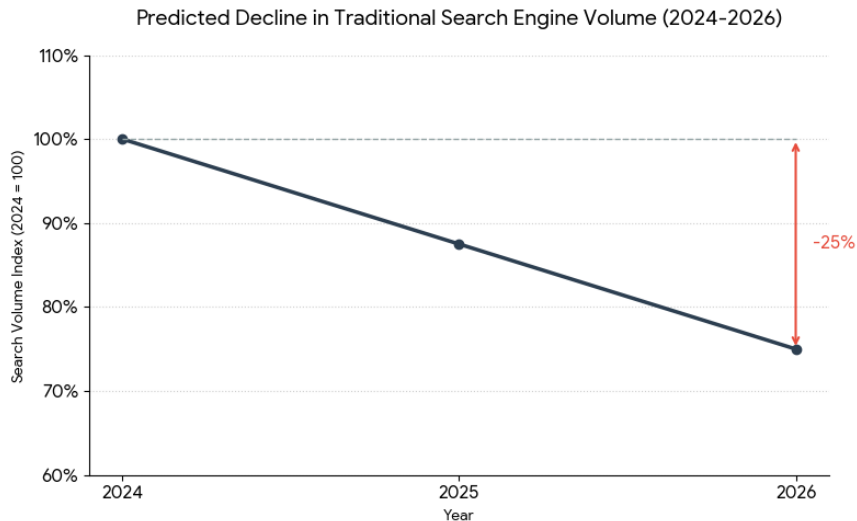
御社のWebサイトを、
AIが読める「教科書」に書き換える



有限会社ハビタス

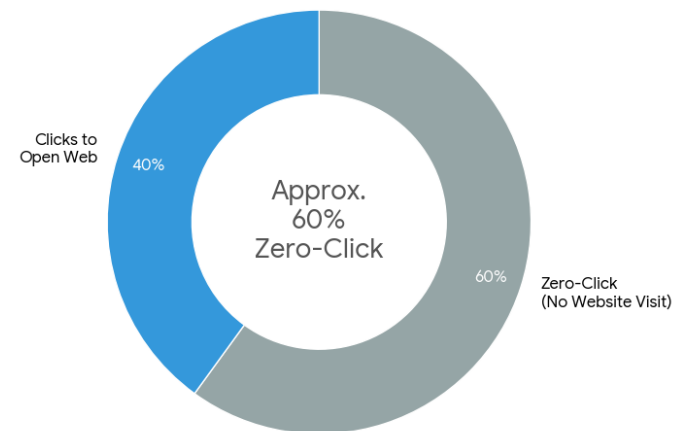
「見てもらえない」時代の到来

Gartner予測：
2026年までに検索ボリュームは25%減する



SparkToroデータ： 検索結果の約60%はWebサイトをクリックしない（ゼロクリック）

Distribution of Search Actions (2024 Study)



「検索経由で人が来るのを待つ」という従来のモデルは、もはや通用しません。

「ググる」から「AIに聞く」へ

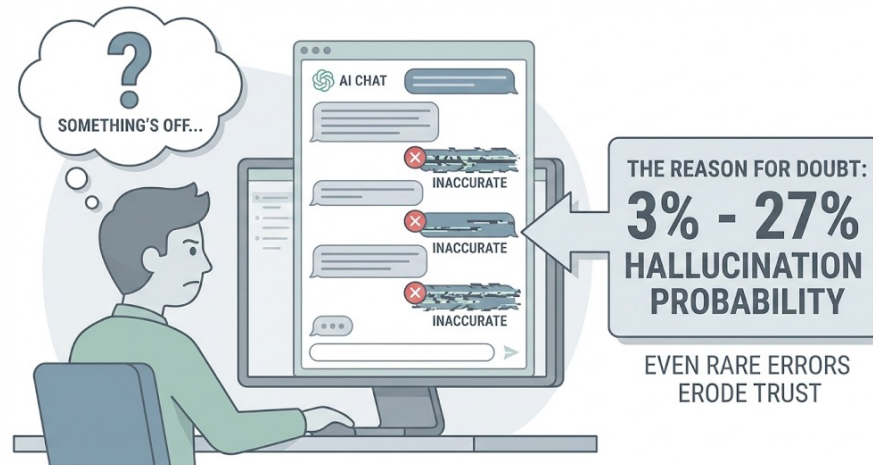
お客様の行動はすでに変わっています：検索はAI Overviewで完結



スマホの中で、AIが御社のことを勝手に解説しています。
「うちは関係ない」と思っている、お客様の行動はすでに変わっています。

AIは平気でウソをつく

そのAIの解説、御社の「悪口」になっていませんか？



ハルシネーション（幻覚）：

AIは知らないことがあると、ネット上の「噂話」や「古い情報」をツギハギして、もっともらしいウソをつく癖があります。

実例：

公式サイトでは「残業なし」と書いているのに、AIは5年前の口コミサイトを拾って「ブラック企業という噂があります」と回答してしまう。

警告：

これを放置するのは、会社の看板に落書きされたまま営業しているのと同じです。

SEOをやっているから大丈夫？

SEO（検索順位対策）：

これは「目立つための競争」です。駅前で大声で呼び込みをするようなものです。

LLMO（AI検索対策）：

これは「身分証明」です。警察や役所に、正しい書類を提出するようなものです。

なぜSEOではダメなのか：

いくら呼び込み（SEO）を頑張っても、提出書類（データ構造）が間違っていたら、AIは御社を「信用できない」と判断します。「順位」を上げる前に、「信用」を作らなければなりません。

「SEOを頑張れば勝てる」 か？

メッセージ：多くの経営者が「ブログを書けば」「キーワードを入れれば」順位が上がると信じていますが、現代のSEOはそんなに甘くありません。

- 高度化したSEOの現実：
現代のSEOは、ドメインパワー、被リンクの質、E-E-A-T（権威性）、Core Web Vitals（技術的指標）など、膨大なリソースと専門技術を持つ「大企業・強者」だけのゲームになっています。
※御社には、SEO専門の担当者が3人いますか？ 毎月100万円の記事制作予算がありますか？ もしNoなら、この土俵で戦うのは危険です
- 結論：
資金力と人員のある大手が支配するこの土俵で、中小企業が戦っても「費用対効果」が合わなくなっています。

Indeedやリクナビで集めた人を、AIという「ザル」で逃していませんか？

広告費（フロー）をドブに捨てる前に、受け皿（ストック）を直しましょう

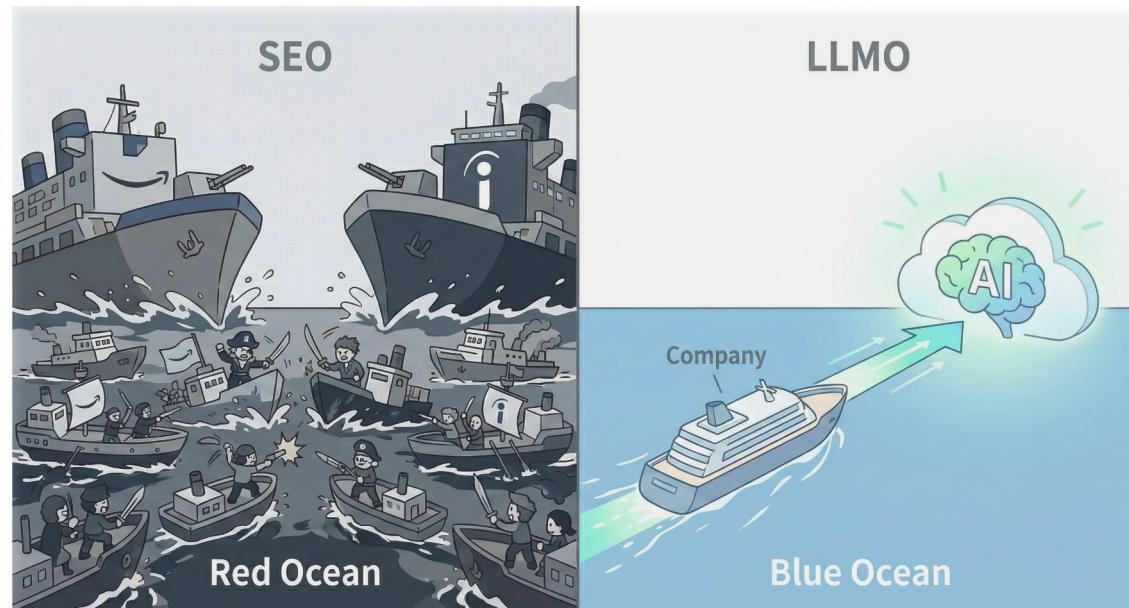
- ・ **中小企業の現実：** 求人サイトにお金を払って、人を集めるのは必要経費です。そこには勝てません。
- ・ **求職者の動き：** 求人サイトで御社を見つけた人は、次に何をするか？ **必ず「会社名」で検索します。**
- ・ **ここが落とし穴：** その検索（指名検索）をした時、AIが「情報なし」や「悪い評判」を表示したら？ せっかく高い広告費で集めた興味・関心が一瞬で冷め、応募ボタンは押されません。

解決策： Habitus Logicは、求人サイトから流れてきた人を受け止める「着地地点」を整備し、広告費の無駄遣い（取りこぼし）を防ぎます。

「見た目」を変えても、 AIには伝わりません。

- よくある失敗： 「AI対応のためにサイトを綺麗にリニューアルしよう！」
→ これは半分間違いです。
- 理由： AIはデザイン（色や写真）を見ていません。裏側の「コード（論理構造）」を見ています。
- Habitus Logicのアプローチ： 今あるWebサイトはそのまま使います。裏側に「AI専用の配線（JSON-LD）」を通す工事を行います。これなら、フルリニューアルのような多額の費用や手間をかけずに、AI対応が完了します。

「順位（Ranking）」から 「定義（Definition）」へ



SEO（レッドオーシャン）： 大手メディアやポータルサイトと、血で血を洗う「順位争い」。上にはAmazonやIndeedがいる。勝てない。

LLMO（ブルーオーシャン）： 自社の情報を正しくAIに伝える「定義の戦い」。ここには競合はいません。あるのは「自社」と「AI」の関係だけです。

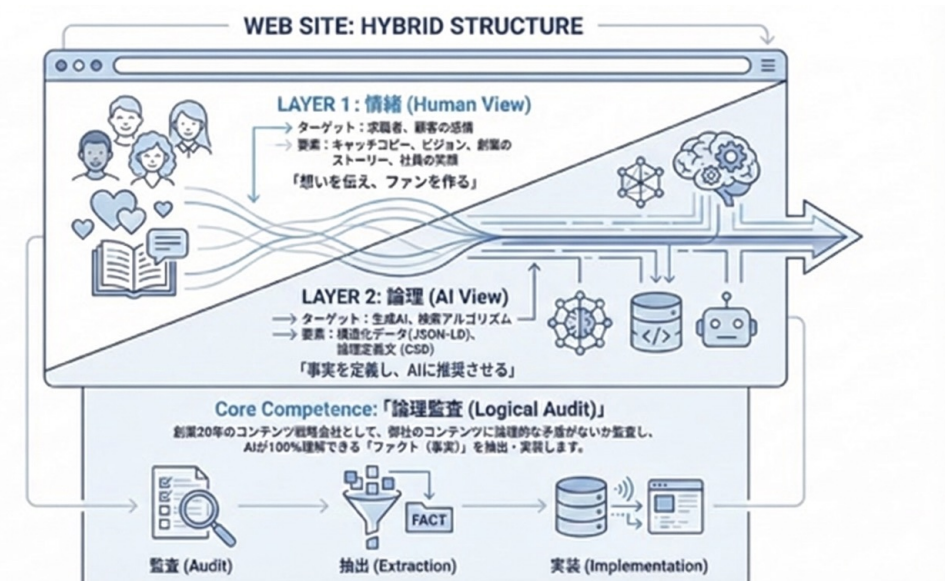
中小企業が勝負すべきは、他社との競争（SEO）ではなく、「自社の独自性をAIに認めさせること（LLMO）」です。

「ハビタス ロジック」とは

AIに、御社の「教科書」を渡す技術です。

「人間へのカタログ（情緒）」と「AIへの教科書（論理）」の二重構造。

hΛbitvs [☆]Logic



デザインを変えずに、裏側で「構造化データ（JSON-LD）」と「CSD（コンテンツ構造設計）」を実装します。

※この技術は、正確性が命である「医療機関」「自治体」「教育機関」でも導入が進む、情報の正規化基準（グローバルスタンダード）です。

経営へのインパクト

効果①： 採用コストの削減（脱・ブラック企業誤認）

- ・ 課題： AIはネットの古い悪評（ブラックな噂）を拾いがち。
- ・ 解決： 公式サイトで「最新の給与・待遇」を構造化データで定義し、AIの回答を「公式情報」で上書きします。エージェントや広告に頼る前の「基礎工事」です。

効果②： 営業機会の創出（脱・その他大勢）

- ・ 課題： 「動画制作会社」と検索しても、大手しか出ない。
- ・ 解決： 「マニュアル制作に特化した動画会社」と詳細に定義することで、ニッチなニーズを持った顧客とAIがマッチングしてくれます。

提供サービスと導入プラン

AI検索最適化ソリューション “Habitus Logic”

habitus⁺Logic

Trial	Starter	Advisory
Habitus Logic Diagnosis (AIレピュテーション診断)	Habitus Logic Core (3点構造化パッケージ)	Habitus Logic Partner (AIブランディング顧問)
【概要】 主要AI（ChatGPT, Gemini, Perplexity）における自社の表示状況とリスクを可視化するレポート。	【概要】 経営インパクトの大きい「トップ・採用・主力事業」の3点に絞り、構造化データと論理定義（CSD）を実装するスターターパック。	【概要】 毎月のAIモニタリングに加え、新着ニュースやブログ記事の構造化、競合他社の動向調査を行う継続サポート。
【価格】 毎月5社限定 無料 (通常 50,000円)	【価格】 500,000円（税別）	【価格】 月額 80,000円～（税別）

御社のサイトが、AIにどう評価されているか。まずは「現実」を

今ならAIレピュテーション診断は無料です。
ぜひご利用ください。

主要AI（ChatGPT, Gemini, Perplexity）における自社の表示状況とリスクを
可視化するレポートをお渡しします。

こちらからお申し込みください。

【キャンペーン】 無料AIリスク診断を申し込む

<https://habitus.co.jp/llmo>



CLICK



有限会社ハビタス (Habitus Inc.)

Mission:

Webサイトを「人間へのカタログ」から「AI時代の知識インフラ」へ進化させる。

ハビタスは、創業以来20年以上にわたり、一貫して「コンテンツ・ファースト」を掲げてきたWebコンサルティング・制作会社です。

Structure (構造) : アカデミックな視点に基づく、論理的なサイト構造設計。

Context (文脈) : 読み手の心を動かす、ストーリー性のあるコンテンツ制作。

この2つを融合させる「Strategic Web Design」を強みとしてきました。AI時代において求められる「二重構造 (Dual Layer)」のアプローチは、私たちが長年磨き続けてきた「編集工学」そのものです。

「横文字の流行語」や「小手先のハック」ではなく、御社のビジネスを正しく理解し、最も美しい論理構造で世界 (AI) に届ける。そのための「翻訳者」として、ハビタスを選んでいただければ幸いです。

Service:

- ・ LLM (AI検索最適化) 導入支援
- ・ Webコンテンツ構造設計 (CSD)
- ・ 企業Webサイトの戦略的リニューアル

Address: 東京都渋谷区桜が丘町29-33#504

URL: <https://habitus.co.jp/>

h a b i t u s